

「2019 年度化学物質のリスク評価検討会報告書」を公表



The Knights

厚生労働省の「化学物質のリスク評価検討会」では、毎年度、事業場で使用されている化学物質による労働者の健康障害のリスク評価を行っています。このほど、ヒトに対する発がん性が疑われるなどの16物質に関する初期リスク評価の結果と、3物質に関する詳細リスク評価のうち経気道ばく露に関する中間報告を、「2019 年度化学物質のリスク評価検討会報告書」として公表しました。

【主要なリスク評価結果】

【詳細リスク評価(経気道ばく露に関する中間報告)】

■ 「アセトニトリル」「塩化アリル」

製造・取扱の業務について、適切なばく露防止措置が講じられない状況では、経気道ばく露のリスクは高いものと考えられることから、健康障害防止措置の検討を行うべきである(経皮吸収の観点も含めたリスク評価は別途必要)。

【初期リスク評価】

■ 「2-クロロフェノール」、「メタクリル酸メチル」、「2-ブテナール」、「しよう脳」、「チオ尿素」、「テトラメチルチウラムジスルフィド(別名チウラム)」、「1-ブロモプロパン」、「メタクリル酸2,3-エポキシプロピル」

経気道ばく露のリスクが高いと判定されたことから、詳細なリスク評価を行い、ばく露の高い要因などを明らかにする必要がある。また、経皮吸収が指摘されている物質については、経皮吸収の観点も含め、リスク評価を確定させるべきである。

■ 「2,4-ジクロロフェノキシ酢酸」

経気道からのばく露によるリスクは低いと考えられるが、経皮吸収が指摘されている物質であることから、経皮吸収の観点も含め、リスク評価を確定させるべきである。

今後の「化学物質のリスク評価検討会」の取組として、詳細リスク評価で経気道ばく露によるリスクが高いと判定された「アセトニトリル」と「塩化アリル」については、健康障害の防止措置の検討に着手します。また、初期リスク評価で経気道ばく露のリスクが高いなどと判断された9物質については、詳細リスク評価を行うこととします。

なお、こうした検討や調査などに先立ち、関係団体に対し、今回の報告書に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について要請します。

当社は、作業環境測定に長年の実績と豊富な経験があります。ご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2020年3月12日付 厚生労働省報道発表資料](#)

分析技術箇所 杉山みなみ

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

新入社員、新配属の方への教育のススメ

新しく入社された方、また、新しい部署へ配属された方は、最初に仕事を把握する事が大変だと思います。そんな時当社の小冊子をぜひご活用ください！ご要望に応じて小冊子を用いた出張セミナーも承ります。詳しくは下記URL、右記QRコードからもご覧いただけます。

<http://www.knights.jp/bkform.html>

お問合せはこちら

